

調布市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 調査の趣旨とご協力をお願い

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする、第二期調布っすこやかプラン（調布市子ども・子育て支援事業計画）に基づき、子どもの成長と子育てを地域全体で支援し、健やかで心豊かな子どもを育むため、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

令和6年度をもって計画期間が終了することから、「第三期調布っすこやかプラン」（計画期間：令和7年度から令和11年度まで）を策定するためのニーズ調査を実施します。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの小学生のお子さんがいいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただいた方です。

ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和5年●月

調布市

【 ご回答にあたって 】

1. 特にことわりのない限り、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの身の回りの世話などを主にしている保護者の方がご記入ください。
3. ご回答には、選択肢に○を付けてお選びいただく場合と、数字などを具体的に記入いただく場合がございます。
4. 設問又は回答した選択肢によっては、一部の方だけに回答をお願いしている設問があります。その場合は説明文、矢印等に従ってお答えください。
5. 回答に際しては、'（1つに○）'、'（あてはまるものすべてに○）'、'（数字でご記入ください）'などの案内がありますので、設問ごとの案内に従ってください。
※選択肢「その他」に“○”をした場合、具体的な内容を〔 〕内にご記入いただく場合があります。
6. ご記入が済みましたら、3つ折りし、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
●月●日（●）までにご返送ください。（切手は不要です）
7. 本アンケートはスマートフォン・タブレット等によるWEB回答も可能です。
8. WEBからの回答の際は、重複回答チェックのため、以下の調査票IDを入力して回答してください。

スマートフォン・タブレット等から回答される方は、
右の二次元コードを読み込んで回答してください。

二次元
コード

調査票 ID

Sample123

調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【お問い合わせ】調布市子ども生活部子ども政策課 電話：042-481-7757

メールアドレス：kodomo@city.chofu.lg.jp

お住まいの地域について伺います。

問1 お住まいの地区はどの学区域になりますか。(1つに○)

1. 第一小学校	8. 上ノ原小学校	15. 杉森小学校
2. 第二小学校	9. 石原小学校	16. 飛田給小学校
3. 第三小学校	10. 若葉小学校	17. 柏野小学校
4. 八雲台小学校	11. 緑ヶ丘小学校	18. 国領小学校
5. 富士見台小学校	12. 染地小学校	19. 布田小学校
6. 滝坂小学校	13. 北ノ台小学校	20. 調和小学校
7. 深大寺小学校	14. 多摩川小学校	

コメントの追加 [A1]: ●量の見込みに必須の設問
●子ども・子育て支援事業計画策定にあたりサービス提供区域の分類に必要

封筒の宛名のお子さんご家庭の状況について伺います。

問2 宛名のお子さんは、現在何年生ですか。(1つに○)

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいについて人数でお答えください。(□内に数字を記入。該当するきょうだいがいない場合は「0 (ゼロ) を記入」または「空欄 (未記入)」)

(1)宛名のお子さんの兄・姉	<input type="text"/> 人	(2)宛名のお子さんの弟・妹	<input type="text"/> 人
----------------	------------------------	----------------	------------------------

コメントの追加 [A2]: ●任意項目
●兄弟姉妹と経済状況や体験状況、理想の子どもの人数、各子育て支援事業のニーズの違い把握

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他

コメントの追加 [A3]: ●量の見込みに必須の設問
●子ども・子育て支援事業計画策定にあたり家庭類型の分類に必要

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない 3. 婚姻はしていないが同居のパートナーがいる

コメントの追加 [A4]: ●量の見込みに必須の設問
●子ども・子育て支援事業計画策定にあたり家庭類型の分類に必要

問6 宛名のお子さんの両親・祖父母等の状況は、次のうちどれに当てはまりますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 父母同居	5. 祖父同居
2. ひとり親家庭 (母子家庭)	6. 母単身赴任中
3. ひとり親家庭 (父子家庭)	7. 父単身赴任中
4. 祖母同居	8. その他 ()

コメントの追加 [A5]: ●独自設問 (新設)
●同居の有無や単身赴任等より詳細に子育ての状況を把握

問7 宛名のお子さんの現在のお住まいについて、あてはまるものは次のうちどれですか。

(1つに○)

1. 賃貸住宅 (一戸建)	4. 持家 (集合住宅)
2. 賃貸住宅 (民間の集合住宅)	5. 都営・市営住宅等の公営住宅
3. 持家 (一戸建)	6. その他 ()

コメントの追加 [A6]: ●独自設問 (新設)
●より詳細に家族構成や収入状況、住環境との関係、就労や子育ての状況との関係を把握

封筒の宛名のお子さんのご家庭の子育て環境について伺います。

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる（学童クラブや塾・習い事のお迎え、勉強や宿題をみてくれる、食事や入浴の世話、家事のお手伝いなど）親族・知人はいますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に宛名のお子さんのきょうだい（宛名のお子さんの兄または姉）にみてもらえる
4. 緊急時もしくは用事の際には宛名のお子さんのきょうだい（宛名のお子さんの兄または姉）にみてもらえる
5. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
6. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
7. いずれもない

コメントの追加 [A7]: •任意項目

•国で任意項目であるが、保育、預かり、家事育児支援等のニーズの発生の高い保護者の特定、ヤンケアの可能性の把握

宛名のお子さんの保護者の就労状況について伺います。

問9 世帯の年収（税込）は次のうちどれにあたりますか。（1つに○）

- | | | |
|------------------|------------------|---------------------|
| 1. 収入なし | 5. 300万円～400万円未満 | 9. 700万円～800万円未満 |
| 2. 100万円未満 | 6. 400万円～500万円未満 | 10. 800万円～1,000万円未満 |
| 3. 100万円～200万円未満 | 7. 500万円～600万円未満 | 11. 1,000万円以上 |
| 4. 200万円～300万円未満 | 8. 600万円～700万円未満 | |

コメントの追加 [A8]: •独自設問

•より詳細に家族構成と収入状況の関係、就労や子育ての状況との関係を把握

問10 次のうち、経済的理由のためにあなたの世帯で持っていないものはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの年齢に合った本 | 9. 電話（固定電話・携帯電話を含む） |
| 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ・ゲーム | 10. インターネットにつながるパソコン |
| 3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所 | 11. 世帯専用のおふろ |
| 4. 洗濯機 | 12. 世帯人数分のベッドまたは布団 |
| 5. 炊飯器 | 13. 自家用車 |
| 6. 掃除機 | 14. 子どもの自転車 |
| 7. 冷暖房機器 | 15. 急な出費のための貯金（5万円以上） |
| 8. 電子レンジ | 16. あてはまるものはない |

コメントの追加 [A9]: •独自設問（新設）

•家族や収入の状況との関係を把握し、子育てに係る経済的支援策を検討

問11 過去1年間において、経済的理由のためにやむを得ず購入や支払いを見送ったものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 衣類の購入 | 5. 電話料金の支払い |
| 2. 食料の購入（食事の量や回数を減らした） | 6. 生命保険や傷病保険等保険料の支払い |
| 3. 家賃または住宅ローンの支払い | 7. その他経費の支払い |
| 4. 光熱水費の支払い | 8. あてはまるものはない |

コメントの追加 [A10]: •独自設問（新設）

•家族や収入の状況との関係を把握し、子育てに係る経済的支援策を検討

ここでは、主に宛名のお子さんの「母親」の状況について伺います。父子家庭の方は、問 13 へお進みください。

問 12 宛名のお子さんの「母親」の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）についてお答えください。（1つに○）

- | | |
|--|------------|
| 1. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } 問 12-1 へ |
| 2. これまで就労したことがない | |
| 3. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } 問 12-2 へ |
| 4. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 6. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |

コメントの追加 [A11]: ●量の見込みに必須の設問
●子ども・子育て支援事業計画策定にあたり家庭類型の分類に必要

問 12 で「1」または「2」に○をつけた方（就労していない方）に伺います。

問 12-1 就労したいという希望はありますか。

（あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。数字は一桁に一字）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） |
| 2. 1年より先、子どもがもう少し大きくなったら就労したい |
| 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい |
| →希望する就労形態 |
| ア. フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労） |
| イ. パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外） |
| →1週当たり □ 日、1日当たり □□ 時間 |

→回答後は問 13 へ（母子家庭の場合は問 14 へ）お進みください。

問12で「3」～「6」に○をつけた方（お勤めの方）に伺います。休業中の方は、休業以前の状況についてお答えください。

問12-2 現在の、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

1週当たり	<input type="text"/>	日、1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---------	----------------------	----------------------	----

問12で「5」「6」に○をつけた方（お勤めの方のうち、パート・アルバイト等の方）に伺います。

問12-3 フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（1つに○）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

→回答後は問13へ（母子家庭の場合は問14へ）お進みください。

ここでは、主に宛名のお子さんの「父親」の状況について伺います。母子家庭の方は、問14へお進みください。

問13 宛名のお子さんの「父親」の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）をについてお答えください。（1つに○）

- | | |
|--|-----------|
| 1. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } 問13-1 へ |
| 2. これまで就労したことがない | |
| 3. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } 問13-2 へ |
| 4. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 5. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない | |
| 6. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である | |

コメントの追加 [A12]: ●量の見込みに必須の設問
●子ども・子育て支援事業計画策定にあたり家庭類型の分類に必要

問13で「1」または「2」に○をつけた方（就労していない方）に伺います。

問13-1 就労したいという希望はありますか。

（あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。数字は一桁に一字）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、子どもがもう少し大きくなったら就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- ア. フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）

→1週当たり □ 日、1日当たり □□ 時間

→回答後は問14へお進みください。

問13で「3」～「6」に○をつけた方（お勤めの方）に伺います。休業中の方は、休業以前の状況についてお答えください。

問13-2 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

1週当たり □ 日、1日当たり □□ 時間

問13で「5」「6」に○をつけた方（お勤めの方のうち、パート・アルバイト等の方）に伺います。

問13-3 フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（1つに○）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

子育ての不安・悩み等について伺います。

問 14 あなたは、子育てでどのような不安や悩みを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 自分の時間がとれず、自由がない | 9. 子どもの学力 |
| 2. 子育てにおわれ、社会から孤立するように感じる | 10. 学費 |
| 3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい | 11. 子育てに伴う経済的な負担が大きい |
| 4. 子育てと親等の介護が同時に発生している | 12. 子どもを邪魔に感じる時がある |
| 5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違ふ | 13. 子どもの発達について心配である |
| 6. 配偶者の子育てへのかかわりが少ない | 14. 子どもの障害について心配である |
| 7. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である | 15. インターネットや SNS に関するトラブルがある |
| 8. 子どもの進路や進学のこと | 16. スマホやタブレット等に依存している |
| | 17. ゲームに依存している |
| | 18. 特に不安や悩みはない |

コメントの追加 [A13]: ●独自設問 (新設)

- 子育ての不安や悩みの把握, 子育て支援施策等の検討
- 選択肢追加

問 15 宛名のおさんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(場所)は誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 家族や親族 | 11. 子ども家庭支援センターすこやか |
| 2. 友人や知人 | 12. 子ども発達センター |
| 3. 近所の人 | 13. 社会福祉協議会(地域)福祉コーディネーター |
| 4. 学校の先生 | 14. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 5. 学校の他の保護者 | 15. 職場の人 |
| 6. 教育相談所 | 16. SNS やインターネット上で相談する |
| 7. 学童クラブやあそびバ | 17. 相談相手がいない |
| 8. 民生委員・児童委員 | 18. 相談する機関がわからない |
| 9. かかりつけの医師 | 19. 相談することがない |
| 10. ここあ | 20. その他() |

コメントの追加 [A14]: ●任意項目

- 国の任意項目であるが、子育ての相談先の把握を行い、行政での支援が必要な対象者の人数を算出
- 複数回答を集計する中で相談先は1つだけの人(=行政での支援が必要な対象者)の数、割合を出していく)

問 16 地域との繋がりがや交流ができる、次のような地域交流の場を利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 自治会 | 5. 地域の団体が行っている居場所 |
| 2. 子ども食堂 | 6. 認可保育園や幼稚園等が実施する地域交流事業 |
| 3. 地区協議会 | 7. その他() |
| 4. 地域で行っている子育て支援活動 | 8. あてはまるものはない |

コメントの追加 [A15]: ●独自項目 (新設)

- 地域交流の場や居場所が求められているかの把握、居場所や地域交流の施策の検討

問 16-1 地域との繋がりがや交流ができる場には、どのような活動があると良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 子育てに関する悩みを気軽に相談できる活動 | 7. 子育てをする親同士で話ができる仲間作りの活動 |
| 2. 子育て家庭の家事を支援する活動 | 8. 子どもの見守りをしてくれる活動 |
| 3. 不意の外出時などに子どもを預かる活動 | 9. 子育てに関連した情報を簡単に共有できるような活動 |
| 4. 子どもが楽しく遊べる活動 | 10. その他 |
| 5. 子どもの食事を支援する活動 | () |
| 6. 子どもに運動や勉強を教える活動 | 11. あてはまるものはない |

問 17 理想とするお子さんの人数は何人くらいですか。(1つに○)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

コメントの追加 [A16]: ●独自設問 (新設)
●市の少子化動向と理由の把握から施策の検討

問 17-1 すべての人が理想とする人数の子どもを育てられるようになるためには、どのようなことが課題になるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 子育ての経済的負担が大きい | 6. 保育所等に子どもを預けられそうにない |
| 2. 将来の教育費の負担 | 7. 不妊・不育症等の相談や支援がない |
| 3. 子育ての心理的負担が大きい | 8. 十分な広さの住宅の確保 |
| 4. 配偶者や家族の家事・育児への協力が得られない | 9. 家事・育児支援サービスが充実していない |
| 5. 仕事と子育ての両立が難しい | 10. その他 () |
| | 11. あてはまるものはない |

市の子育て支援サービス等について伺います。

問 18 あなたは、子育てに関する情報をどこ(誰・何)から入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 親族 | 10. 市からの SMS 通知 |
| 2. 近所の人、知人、友人 | 11. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 12. 子育て雑誌 |
| 4. 保育所、幼稚園、学校 | 13. インターネット(パソコン利用) |
| 5. 市役所や市の機関の窓口 | 14. インターネット(ケータイ・スマホ利用) |
| 6. 市の広報紙やパンフレット | 15. 調布子育て応援サイト「コサイト」 |
| 7. 市のホームページ | 16. その他 |
| 8. 市のフェイスブックやインスタグラム | () |
| 9. 市の LINE | 17. 情報の入手先がわからない |

コメントの追加 [A17]: ●独自設問
●子育てに関する情報発信手段等の検討

問 18-1 あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 子ども向けイベント情報 | 7. 子どもの発達やしつけについて |
| 2. 公園などの遊び場の情報 | 8. 医療機関情報 |
| 3. 子育てサークルなどの情報 | 9. 病気や障害に関する相談窓口 |
| 4. 子ども向け書籍の紹介 | 10. アレルギーを持つ子ども向けの情報 |
| 5. 子育てに優しい、子育てしやすい住まいに関する情報 | 11. 心理的ストレスに対する窓口 |
| 6. 児童館やあそび場等の子どもが利用できる施設の紹介・特徴 | 12. いじめや不登校に関する相談窓口 |
| | 13. その他 () |

コメントの追加 [A18]: ●独自設問
●子育てに関する情報発信の内容等の検討

問 19 次の施設やサービス等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1. はい」「2. いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
①児童館の各種事業・イベント	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②あそびバ (※令和4年度まで「ユーフォー」)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③学童クラブ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④調布市子ども家庭支援センター 「すこやか」	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤ファミリー・サポート・センター	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥市で実施している家庭相談・ひとり親相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦教育相談所の教育相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑧「元気に育て!! 調布っ子」 (市が発行している子育て情報誌)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑨調布子育て応援サイト「コサイト」	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑩子育てカフェ aona	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑪子ども発達センター相談事業	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑫子ども食堂	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑬地域交流スペースまんまる	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

コメントの追加 [A19]: ●量の見込みに必須の設問
●子ども・子育て支援事業計画策定にあたり利用者支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要な
●利用者支援事業
●HPのQRコードを掲載か () 括弧書きで事業説明を追記検討

【あそびバと調布市立学童クラブの違い】

項目	あそびバ	調布市立学童クラブ
対象児童	小学1～6年生（市立小学校在籍の全児童）※市内在住の私立・国立小学校在籍児童も利用可能	小学1～6年生（保護者の就労などの入会条件あり）※市内在住の私立・国立小学校在籍児童も利用可能
定員	なし	あり（施設によって定員が異なります）
開設時間	学校がある日／放課後～17：00 学校がない日／8：00～17：00	学校がある日／放課後～18：00 学校がない日／8：00～18：00 （※19：00までの時間延長あり）
料金	無料	育成料／5,000円（月額） おやつ代／1,500円（月額） 時間延長（18：00～19：00）／200円（30分ごと）
出欠席の確認方法	なし（ご希望により出席時間が確認できる利用カードを利用可）	連絡帳（事前連絡がなく欠席の場合は保護者に電話で確認）
帰宅方法	自由帰り（保護者の方との約束時間に帰宅、お迎えも可）	集団帰り／17：00（17：00以降は保護者のお迎え）
おやつ	なし	あり
保護者への情報提供	あそびバだより（毎月・臨時）	日々の連絡帳、おたより、保護者会、個人面談、親子交流会など

小学校就学後の放課後の過ごし方について伺います。

すべての方に伺います。

問 20 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。下記（１）～（３）の時間帯ごとに、あてはまるもの３つまでに○をつけてください。

主な場所（下記よりお選びください）	時間帯	（１） 学校終了後 ～17：00	（２） 17：00 ～19：00	（３） 19：00～
1. 児童館*				
2. あそびバ（放課後子供教室事業）				
3. 調布市立学童クラブ（市へ申請）				
4. 民間学童（民間事業所と個別に契約）				
5. 放課後等デイサービス				
6. 公園				
7. 自宅で親と一緒に				
8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に				
9. 自宅で一人				
10. 祖父母・親戚宅				
11. 友人宅				
12. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）				
13. 図書館				
14. 地域の活動に参加				
15. ファミリー・サポート・センター				
16. トワイライトステイ				
17. その他（ ）				

※ 児童館で行う学童クラブを利用している場合は「3. 調布市立学童クラブ」に回答

⇒1年生～3年生の方は問 20-1 へお進みください。 ⇒4年生～6年生の方は問 20-2 へお進みください。

コメントの追加 [A20]: •独自設問

•子ども・子育て支援事業計画策定、検討にあたり現状と希望のギャップを把握し放課後の事業の優先度を検討

宛名のお子さんが小学校1年生～3年生の方に伺います。

問 20-1 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）の場合と小学校高学年（4～6年生）になった場合について、下記（1）～（3）の時間帯ごとに、あてはまるもの3つまでに○をつけてください。高学年については、先のことになりますが、現在お持ちの考えでお答えください。

主な場所 (下記よりお選びください)	小学校低学年（1～3年生） の時期			小学校高学年（4～6年生） の時期		
	(1) 学校終了後 ～17:00	(2) 17:00 ～19:00	(3) 19:00～	(1) 学校終了後 ～17:00	(2) 17:00 ～19:00	(3) 19:00～
1. 児童館*						
2. あそびば (放課後子供教室事業)						
3. 調布市立学童クラブ (市へ申請)						
4. 民間学童 (民間事業所と個別に契約)						
5. 放課後等デイサービス						
6. 公園						
7. 自宅で親と一緒に						
8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に						
9. 自宅で一人						
10. 祖父母・親戚宅						
11. 友人宅						
12. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)						
13. 図書館						
14. 地域の活動に参加						
15. ファミリー・サポート・センター						
16. トワイライトステイ						
17. その他 ()						

※ 児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「3. 調布市立学童クラブ」に回答

コメントの追加 [A21]: 量の見込みに必須の設問

- 子ども・子育て支援事業計画策定にあたり放課後児童健全育成事業、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）の量の見込みの算出、確保方策に必要
- 放課後児童健全育成事業
- 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児のみ）

【ぎょうせい】

- 量の見込みの際には利用意向率を基礎とするが、利用意向を確認しようとするときに、回答を3つまでに限定するのは疑義が残る
- 回答ミスが出やすい設問であり、回答ミスの際にどのような処理をするかを事前に決めておく必要あり

宛名のお子さんが小学校4年生～6年生の方に伺います。

問 20-2 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。下記（1）～（3）の時間帯ごとに、あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

主な場所（下記よりお選びください）	時間帯	(1) 学校終了後 ～17:00	(2) 17:00 ～19:00	(3) 19:00～
1. 児童館*				
2. あそびバ（放課後子供教室事業）				
3. 調布市立学童クラブ（市へ申請）				
4. 民間学童（民間事業所と個別に契約）				
5. 放課後等デイサービス				
6. 公園				
7. 自宅で親と一緒に				
8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に				
9. 自宅で一人				
10. 祖父母・親戚宅				
11. 友人宅				
12. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）				
13. 図書館				
14. 地域の活動に参加				
15. ファミリー・サポート・センター				
16. トワイライトステイ				
17. その他（ ）				

※ 児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「3. 調布市立学童クラブ」に回答

コメントの追加 [A22]: 量の見込みに必須の設問

- 子ども・子育て支援事業計画策定にあたり放課後児童健全育成事業、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）の量の見込みの算出、確保方針に必要
- 放課後児童健全育成事業
- 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児のみ）

【ぎょうせい】

- 量の見込みの際には利用意向率を基礎とするが、利用意向を確認しようとするときに、回答を3つまでに限定するのは疑義が残る
- 回答ミスが出やすい設問であり、回答ミスの際にどのような処理をするかを事前に決めておく必要あり

問 20-1 または問 20-2 で小学校高学年（4～6年生）時に、「3. 調布市立学童クラブ」に○をつけた方に伺います。

問 20-3 （1）何年生まで学童クラブの利用希望がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、（1）で利用希望学年に○をつけた方は、学年ごとに（2）利用希望時期について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 利用希望学年 (あてはまるものすべてに○)	(2) 利用希望時期（利用希望学年ごとに、あてはまる利用希望時期の番号1つに○）			
	1. 通年	2. 夏休みまで	3. 春、夏、冬季 休業中	4. 夏休みのみ
1. 4年生の利用	1	2	3	4
2. 5年生の利用	1	2	3	4
3. 6年生の利用	1	2	3	4

コメントの追加 [A23]: 独自設問

- 次年度以降の定員数の決定や、施設整備に反映

学童クラブを利用していない方（問20で「3. 調布市立学童クラブ」を選択していない方）に伺います。

問20-4 現在、宛名のお子さんが学童クラブを利用していない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 就労していないから必要ない | 8. 子どもだけで過ごせるから |
| 2. 就労時間が短いから | 9. 子どもの祖父母や親戚の人がみているから |
| 3. 近くに学童クラブがないから | 10. 子どもが学童クラブに行きたがらないから |
| 4. 希望の学童クラブに空きがないから | 11. 児童館を利用しているから |
| 5. 学童クラブの開所時間が短いから | 12. あそびバを利用しているから |
| 6. 利用料（育成料・延長利用料・おやつ代）*がかかるから | 13. 民間学童を利用しているから |
| 7. 習い事をしているから | 14. その他 |
| | （ ） |

※ P●【あそびバと学童クラブの違いのうち、学童クラブ料金参照】

コメントの追加 [A24]: ●独自設問

●学童クラブの充実、改善等の検討

学童クラブの利用を希望する方（問20-1または問20-2で「3. 調布市立学童クラブ」に○をつけた方）に伺います。

問20-5 利用したい理由についてお答えください。（あてはまるもの3つまでに○）

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 17時以降も利用できる | 6. 行事やプログラムが充実している |
| 2. 出欠席の管理をしてくれる | 7. 保護者との関わりを密にしてくれる |
| 3. 基本的な生活習慣が習得できる | 8. おやつが食べられる |
| 4. 異年齢児童との交流や集団生活を通して、子どもの成長を支援してくれる | 9. 信頼できる職員がいる |
| 5. 仲の良い友だちと一緒に通っている | 10. その他 |
| | （ ） |

コメントの追加 [A25]: ●独自設問

●学童クラブに限らず、他の放課後居場所事業にもニーズ等の分析結果を反映

●学童クラブを利用している人にはアンケートを実施しているので、この調査は、学童クラブを利用していない人の意見を聴く機会となっている

●就労している以外の理由で、あそびバや児童館という選択肢のある中で、なぜ学童を利用したいのかも把握

すべての方に伺います。※以下の設問は、お子さんと話し合いながら回答してください。

問21 現在、宛名のお子さんはあそびバに登録し、利用していますか。（1つに○）

- | |
|--------------------|
| 1. 登録し、利用している |
| 2. 登録しているが、利用していない |
| 3. 登録していない |

コメントの追加 [A26]: ●独自設問

●あそびバの利用状況の確認

問21で「1. 登録し、利用している」に○をつけた方に伺います。

問21-1 あそびバに週何回ぐらい行きますか。（1つに○）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 週4～6回（ほぼ毎日） | 4. 月に数回 |
| 2. 週2～3回 | 5. 保護者会や行事があるときだけ |
| 3. 週1回 | |

コメントの追加 [A27]: ●独自設問

●あそびバの利用頻度の確認

問 21-2 あそびバを利用している理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自由に行けるから | 9. 友だちと会える |
| 2. 幅広い異学年の交流ができるから | 10. 友だちを増やせる |
| 3. 仲の良い友だちが利用しているから | 11. 好きなことができる |
| 4. 保護者が仕事等で不在だから | 12. 行きたい時に行ける |
| 5. 安全に安心して遊べる場所だから | 13. ほかに行くところがない |
| 6. 利用料がかからないから | 14. つまらない |
| 7. 居心地がいいから | 15. その他 |
| 8. 楽しいから | () |

コメントの追加 [A28]: ●独自設問
●あそびバの充実の検討

問 21-3 現状のあそびバの開設時間帯をどう感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 満足している | 2. 開設時間を延長してほしい |
|-----------|-----------------|

コメントの追加 [A29]: ●独自設問
●前回調査結果との比較
●あそびバの充実、改善等の検討

問 21-3 で「2. 開設時間を延長してほしい」に○をつけた方に伺います。

問 21-4 希望する開設時間について、□内に数字でご記入ください。(24 時間制、数字は一桁に一字)

※現在は、通年で午後 5 時まで、学校がお休みの日は午前 8 時から開設しています。

(1) 学校がある日	下校時から、	□□	時	□□	分まで
(2) 学校がお休みの日	ア. 開始時刻	□□	時	□□	分から
	イ. 終了時刻	□□	時	□□	分まで

コメントの追加 [A30]: ●独自設問
●あそびバの開設時間延長を今後も増やしていくかどうか検討

問 21 で「2. 登録しているが、利用していない」または「3. 登録していない」に○をつけた方に伺います。

問 21-5 あそびバを利用・登録していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 学童クラブを利用して、あそびバの必要性がないから | 8. 一緒に遊ぶ友だちがいない |
| 2. 利用方法や実態がよくわからないから | 9. 制限が多い(外遊び等) |
| 3. 塾や習い事で利用する時間がないから | 10. 遊具が少ない |
| 4. 友だちが利用していないから | 11. 遊具が低学年向け |
| 5. 公園など、他の場所で遊んでいるから | 12. 苦手な友だちがいる |
| 6. つまらないから | 13. 行事・イベントが少ない |
| 7. おやつが出ないから | 14. その他 |
| | () |

児童館を利用していない方（問 20 で「1. 児童館」を選択していない方）に伺います。

問 22 現在、宛名のお子さんが児童館を利用していない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. 学童クラブを利用しているから | 6. つまらないから |
| 2. 利用方法や実態がよくわからないから | 7. おやつが出ないから |
| 3. 塾や習い事で利用する時間がないから | 8. 違う学校の人がいるから |
| 4. 友だちが利用していないから | 9. 家にいる方がいいから |
| 5. 公園など、他の場所で遊んでいるから | 10. その他（ ） |

コメントの追加 [A31]: ●独自設問

●利用していない理由を把握し、児童館の充実、改善等の検討

すべての方に伺います。

問 23 現状の児童館の開設時間帯をどう感じますか。（1つに○）

※現在は、通年で午後 5 時 30 分まで（中高生は午後 6 時まで）開設しています。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 適正 | 3. 日・祝日も利用したい |
| 2. もっと遅い時間まで利用したい | 4. その他（ ） |

コメントの追加 [A32]: ●独自設問

●児童館の充実、改善等の検討

問 24 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について、心配なことは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 保護者が家にいない | 3. 居場所がない |
| 2. 一緒に遊ぶ友達がいない | 4. その他（ ） |

コメントの追加 [A33]: ●独自設問

●放課後の居場所等施策の検討

問 25 「調布市青少年ステーション CAPS」のことを知っていますか。（1つに○）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

コメントの追加 [A34]: ●独自設問（新設）

●低学年も調査対象のため迷うが事業の認知状況の把握

調布市青少年ステーション CAPS

調布市青少年ステーション CAPS は「家」、「学校」でない、中・高校生世代が「安心安全」に過ごすことができる中・高校生世代を主な対象とした児童館で、0～18 歳までのすべての子どもが利用することが出来る児童福祉施設です。
「居場所：安心・安全に過ごすことができる場所」、「活場所：音楽、ダンス、クラフト、スポーツ、サブカルチャー等の活動が出来る場所」、「生場所：中・高校生世代が自主的にイベント等の企画・運営が出来る場所」の 3 つの居場所を提供しています。

宛名のお子さんとの体験の状況について伺います。

問 26 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。①～⑤それぞれについて、ある場合は「1」を、ない場合はあてはまる理由を「2」～「4」から選び、それぞれ1つに○をつけてください。

	あてはまるもの1つに○			
	ある	ない		
		金銭的理由	時間の制約	その他の理由
① アウトドア（海水浴やキャンプ、山、川等）に行く	1	2	3	4
② 動物園・水族館・美術館・映画館等に行く	1	2	3	4
③ 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
④ 塾に行く	1	2	3	4
⑤ 習い事をする	1	2	3	4

コメントの追加 [A35]: ●独自設問（新設）
●ひとり親家庭、貧困家庭の体験格差把握

児童虐待等について伺います。

問 27 児童虐待について次のことを知っていますか。以下の①～③のそれぞれについて「1. はい」「2. いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	はい	いいえ
① 「児童虐待の防止等に関する法律」（児童虐待防止法）を知っていますか	1	2
② 児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか	1	2
③ ご家庭で虐待の心配があったら相談できる機関を知っていますか	1	2

コメントの追加 [A36]: 独自設問
●児童虐待の防止等に関する認知状況、施策の検討

問 28 児童虐待を発見した場合には、以下、選択欄のどちらにも通告や通報等ができます。その中でも、あなたは、どちらに連絡しようと思えますか。（1つに○）

1. 児童相談所	6. 保育園・幼稚園
2. 子ども家庭支援センター「すこやか」	7. 警察
3. 市役所	8. 虐待ダイヤル189番
4. 保健センター	9. その他
5. 教育委員会の相談窓口	()

コメントの追加 [A37]: ●独自設問
●児童虐待の防止等に関する認知状況、施策の検討

問 29 児童虐待について、あなたは以下のことを知っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 児童虐待を受けたと思われる子どもを発見したら、通告する義務がある
2. 児童虐待の通告をした者の秘密は守られる
3. 「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークである
4. 児童相談所全国共通ダイヤルの番号は189である
5. 子どもの前で夫婦喧嘩等をすることが、児童虐待にあたること
6. 「しつけ」と称した体罰等をすることが、児童虐待にあたること

コメントの追加 [A38]: ●独自設問
●児童虐待の防止等に関する認知状況、施策の検討

問 30 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが内容は知らない 3. 知らない

ヤングケアラー

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っていることのある子ども。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。ヤングケアラーの用語説明は、問 40 のこども誰でも通園制度と同様の体裁で記載。

コメントの追加 [A39]: ●独自設問 (新設)

●ヤングケアラーの保護者の認知度の把握

子どもの権利及び調布市子ども条例について伺います。

問 31 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている 2. 言葉だけ知っている 3. まったく知らない

子どもの権利

子ども(18歳未満の人)が、人間らしく、幸せに生きられ、健康に成長するために必要なことは、世界のどこに生まれても「おなじ」とした考え方を「子どもの権利」と呼びます。「子どもの権利」には、大きく分けると、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利等が挙げられます。

コメントの追加 [A40]: ●独自設問 (新設)

●子どもの権利と調布市子ども条例の認知状況の把握、周知等の検討

問 32 あなたは、「調布市子ども条例」について知っていますか。(1つに○)

1. 知っている 2. 言葉だけ知っている 3. まったく知らない

調布市子ども条例

調布市子ども条例は、子どもが健やかに育ち、安心して子どもを産み、育てることができるまちの実現を目指して平成17年4月1日に施行しました。市ではこの条例に基づき、子育て家庭に対し様々な支援を行っています。

コメントの追加 [A41]: ●独自設問 (新設)

●子どもの権利と調布市子ども条例の認知状況の把握、周知等の検討

問 33 子どもにとって大切だと思う「子どもの権利」として、あてはまるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. 差別されないこと | 9. 病院に行ったり、健康を守ってもらえたりすること |
| 2. 悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと | 10. 生活のためのお金が足りない時に、国から助けをもらうこと |
| 3. 子どもにとって一番よいことは何か考えてくれること | 11. 愛されて幸せな生活を送ること |
| 4. 安心して生きること | 12. 心や体が十分に成長する教育を受けること |
| 5. 自分が学びたい通り学んで、成長すること | 13. 休んだり遊んだりすること |
| 6. 自分の意見を自由に答えること | 14. スポーツや芸術を楽しむ活動に参加すること |
| 7. 子ども同士で集まったり一緒に何かをするためのグループを作ったりすること | 15. 戦争に巻き込まれないで平和に生活すること |
| 8. 親から叩かれたり、ひどい目にあわされたりしないこと | |

コメントの追加 [A42]: ●独自設問 (新設)

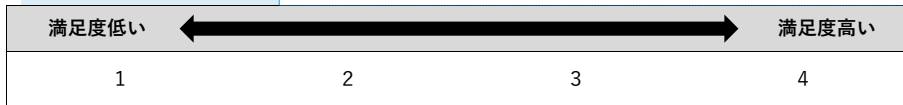
●子どもの権利と調布市子ども条例の認知状況の把握、周知等の検討

問 34 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取組として必要と思われること、重要と思われることは何だと思えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 子育て相談の充実 | 12. 障害のある子どもと家庭への支援 |
| 2. 子ども同士、高齢者などとの交流の機会の充実 | 13. 児童虐待の防止・発見・対応 |
| 3. 地域社会全体で子どもたちを見守り育てていく体制づくり | 14. ヤングケアラーへの支援 |
| 4. バランスのよい食生活に関する知識の普及 | 15. 乳児保育、延長保育などの拡充 |
| 5. 母子保健の充実 | 16. 家庭と仕事が両立できるよう、各種支援事業の周知 |
| 6. 一人ひとりの個性や特徴を尊重した幼児教育 | 17. 子どもの権利の周知・啓発 |
| 7. 自然や文化とのふれあい、人との付き合い方を学ぶための体験活動の充実 | 18. 労働時間改善など、企業や事業主へのはたらきかけ |
| 8. 小児医療の充実や乳幼児医療費の助成制度の拡充 | 19. 公共施設や公園などの安全性の確保 |
| 9. 交通マナーの向上などの交通安全啓発活動 | 20. バリアフリーのまちづくり |
| 10. 防犯意識の啓発活動 | 21. その他 |
| 11. ひとり親家庭への支援 | |

コメントの追加 [A43]: ●独自設問
●重視されている子ども施策の把握と今後の検討

問 35 調布市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)



コメントの追加 [A44]: ●独自設問
●今後の子育て施策の充実や改善の検討

問 36 これまでに、「転居を検討したくなるほど魅力的」に感じた、他自治体の子育て支援策や子育て環境があれば、お教えください。

コメントの追加 [A45]: ●独自設問 (新設)
●今後の子育て施策の充実や改善の検討

問 37 調布市における子育て支援や子育て環境に関して、(1) 課題だと思うこと、(2) どう改善すべきかについて、考えがあればお書きください。

	(1) 課題だと思うこと		(2) どう改善すべきか
①		▶	
②		▶	
③		▶	
④		▶	

コメントの追加 [A46]: ●独自設問

●今後の子育て施策の検討

調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
記入した調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、
令和●年●月●日（●）までに投函してください。